



2019年11月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月5日

上場会社名 丸八倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9313 URL <http://www.maru8.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 峯島 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長 兼 情報システム部長 (氏名) 宮沢 浩元

TEL 03-5620-0809

四半期報告書提出予定日 2019年7月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年11月期第2四半期の連結業績(2018年12月1日～2019年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第2四半期	2,540	6.0	366	55.6	362	88.8	243	93.1
2018年11月期第2四半期	2,397	2.6	235	10.3	191	26.9	126	66.7

(注) 包括利益 2019年11月期第2四半期 130百万円 (110.1%) 2018年11月期第2四半期 62百万円 (85.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第2四半期	41.74	
2018年11月期第2四半期	21.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年11月期第2四半期	15,671	9,192	58.5
2018年11月期	16,027	9,155	57.0

(参考) 自己資本 2019年11月期第2四半期 9,168百万円 2018年11月期 9,131百万円

(注) 『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度については、遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期		0.00		16.00	16.00
2019年11月期		0.00			
2019年11月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年11月期の連結業績予想(2018年12月1日～2019年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	2.1	660	9.9	650	15.7	420	10.0	72.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年11月期2Q	7,300,000 株	2018年11月期	7,300,000 株
2019年11月期2Q	1,466,764 株	2018年11月期	1,466,754 株
2019年11月期2Q	5,833,239 株	2018年11月期2Q	5,833,246 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後、業績予想に修正が生じた場合は、速やかに開示いたします。

業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、通商問題の動向が世界経済に与える影響のほか、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等に留意を要する状況ながら、企業収益は高い水準で推移し、設備投資も緩やかな増加傾向にあったほか、雇用・所得環境も改善が続き、各種政策の効果もあって、景気は緩やかに回復しました。

このような経済情勢にあって、物流業界におきましては、国内貨物の荷動きは堅調に推移しているものの、競争の激化や人手不足等を背景としたコスト高により、厳しい状況が続いております。また、不動産賃貸業界におきましては、需給改善の兆しはあるものの賃料水準の本格的回復には至っておりません。

このような状況の下、当社グループは「新中期経営計画(2019-2023)」に掲げた事業戦略に基づいて、各施策を着実に実行しながら業績の確保に努めております。物流事業においては、きめ細かなサービスを提供しながら、既存顧客との取引拡大や新規顧客の獲得に努めており、各営業所の稼働率は高い水準で推移しております。また、不動産事業においては、賃貸マンション、賃貸オフィスビルともに安定的に稼働しており、収益基盤の増強が図られつつあります。

この結果、売上高は物流事業ならびに不動産事業ともに増収となり前期比143百万円(6.0%)増の2,540百万円となりました。また、営業利益は減価償却費等の増加があったものの前期比130百万円(55.6%)増の366百万円となり、経常利益は支払利息等の増加があったものの前期比170百万円(88.8%)増の362百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前期比117百万円(93.1%)増の243百万円となりました。

セグメント別の経営成績は、次の通りであります。

物流事業

物流事業では、保管料・荷役料等が増加したことにより、売上高は前期比9百万円増の2,229百万円となり、セグメント利益は運賃コスト等の増加により前期比5百万円減の435百万円となりました。

不動産事業

不動産事業では、不動産賃貸料が増加したことにより、売上高は前期比133百万円増の310百万円となり、セグメント利益は前期比111百万円増の152百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、流動資産および固定資産ともに減少し、前期末比355百万円減少の15,671百万円となりました。負債は、長期借入金金の減少等により前期末比392百万円減少の6,479百万円となり、純資産は前期末比37百万円増加の9,192百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は58.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、2019年1月11日に公表しました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	830,298	1,096,911
受取手形及び営業未収入金	333,727	320,925
その他	409,529	110,014
流動資産合計	1,573,555	1,527,851
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,896,576	6,752,602
機械装置及び運搬具(純額)	144,693	141,442
土地	5,074,252	5,074,252
その他(純額)	244,651	225,399
有形固定資産合計	12,360,175	12,193,697
無形固定資産		
借地権	72,372	72,372
その他	42,618	39,536
無形固定資産合計	114,991	111,909
投資その他の資産		
投資有価証券	1,337,724	1,174,680
従業員に対する長期貸付金	708	11
差入保証金	477,485	451,677
会員権	9,978	9,978
退職給付に係る資産	-	3,071
繰延税金資産	26,719	26,576
その他	125,746	172,489
投資その他の資産合計	1,978,363	1,838,484
固定資産合計	14,453,529	14,144,091
資産合計	16,027,084	15,671,943

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	129,223	106,365
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	553,176	553,176
未払金	15,702	7,062
未払費用	104,437	92,540
未払法人税等	127,773	135,062
未払消費税等	10,648	69,043
前受金	161,575	157,098
その他	9,125	10,307
流動負債合計	1,211,662	1,230,657
固定負債		
長期借入金	4,365,045	4,088,457
繰延税金負債	551,120	501,196
役員退職慰労引当金	139,273	98,060
退職給付に係る負債	8,272	-
長期預り保証金	573,002	537,591
その他	23,517	23,517
固定負債合計	5,660,231	5,248,823
負債合計	6,871,894	6,479,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,527,600	2,527,600
資本剰余金	2,046,936	2,046,936
利益剰余金	5,578,139	5,728,269
自己株式	△1,275,062	△1,275,070
株主資本合計	8,877,613	9,027,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	253,488	140,368
その他の包括利益累計額合計	253,488	140,368
非支配株主持分	24,089	24,360
純資産合計	9,155,190	9,192,463
負債純資産合計	16,027,084	15,671,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年12月1日 至2018年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)
売上高	2,397,037	2,540,621
売上原価	1,842,923	1,878,719
売上総利益	554,113	661,902
販売費及び一般管理費	318,794	295,698
営業利益	235,319	366,203
営業外収益		
受取利息	363	505
受取配当金	3,139	3,423
保険解約返戻金	-	4,164
その他	3,013	4,169
営業外収益合計	6,515	12,262
営業外費用		
支払利息	15,431	15,939
支払手数料	34,433	-
営業外費用合計	49,865	15,939
経常利益	191,969	362,526
特別利益		
有形固定資産売却益	9	-
特別利益合計	9	-
特別損失		
有形固定資産除却損	301	431
特別損失合計	301	431
税金等調整前四半期純利益	191,677	362,094
法人税等	65,142	118,362
四半期純利益	126,535	243,732
非支配株主に帰属する四半期純利益	463	271
親会社株主に帰属する四半期純利益	126,071	243,461

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年12月1日 至2018年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)
四半期純利益	126,535	243,732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64,362	△113,120
その他の包括利益合計	△64,362	△113,120
四半期包括利益	62,172	130,612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,708	130,341
非支配株主に係る四半期包括利益	463	271

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年12月1日 至2018年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	191,677	362,094
減価償却費	210,853	231,898
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△13,948	△8,272
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	-	△3,071
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,615	△41,212
受取利息及び受取配当金	△3,502	△3,928
支払利息	15,431	15,939
有形固定資産売却損益(△は益)	△9	-
有形固定資産除却損	301	431
売上債権の増減額(△は増加)	△12,303	12,802
その他の資産の増減額(△は増加)	△214,875	301,712
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,932	△22,858
未払消費税等の増減額(△は減少)	△140,339	58,395
その他の負債の増減額(△は減少)	25,041	△56,955
小計	49,008	846,975
利息及び配当金の受取額	3,502	3,928
利息の支払額	△15,124	△15,917
法人税等の支払額	△72,437	△111,406
営業活動によるキャッシュ・フロー	△35,051	723,580
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,703,249	△61,154
有形固定資産の売却による収入	10	-
無形固定資産の取得による支出	△3,670	△2,660
貸付金の回収による収入	549	697
差入保証金の差入による支出	△632	△1,969
差入保証金の回収による収入	1,115	27,778
長期前払費用の取得による支出	△9,517	△5,037
その他の支出	△10	△50,264
その他の収入	267	6,311
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,715,137	△86,299
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△236,591	△276,588
長期借入れによる収入	1,900,000	-
自己株式の取得による支出	-	△7
配当金の支払額	△93,693	△94,072
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,569,715	△370,667
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△180,473	266,613
現金及び現金同等物の期首残高	985,865	830,298
現金及び現金同等物の四半期末残高	805,392	1,096,911

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,220,029	177,008	2,397,037	—	2,397,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,220,029	177,008	2,397,037	—	2,397,037
セグメント利益	441,581	40,996	482,577	△247,258	235,319

(注) 1. セグメント利益の調整額△247,258千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,229,735	310,886	2,540,621	—	2,540,621
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,229,735	310,886	2,540,621	—	2,540,621
セグメント利益	435,920	152,432	588,353	△222,149	366,203

(注) 1. セグメント利益の調整額△222,149千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。